



ハート・アート・おかやま

赤木 真里子 さん

- 「みて感じてぼくらの仮面展」開催！
- 岡山大学教育学部附属養護学校高等部の授業で制作した生徒の作品を展示します。
- ◇日時：2004年12月14日（火）～19日（日）  
11:00～17:00（最終日は16:30まで）
- ◇会場：クリエイティブHAO（ハオ）
- 【ワークショップ】
- 「テラコッタ・小さな仮面をつくろう」
- 12月19日（日）13:00～15:00
- ※仮面づくり体験ができます！

赤木さんの体験 1

## ボランティアを始めたきっかけは？

わが家に生まれた子どもがダウン症であったこと、その子が絵画などの創作活動を始めたことがきっかけで、絵や粘土、もともと好きだったリズムや身体表現などに、親の私も興味を抱くようになりました。

現在もわが子が通っている施設で、創作した作品を多くの人々に見てもらうことや、思い切った行った子どもの個展などを通して、一般の人々にも作品を見ていただくことに意味を感じ始めるようになっていたとき、エイブルアートフォーラムが岡山で行われました。2000年1月のことです。それが基になり、親や福祉・教育関係者、アート関係の人たちが集まり、2002年には、「エイブルアートフォーラム岡山実行委員会」から、「ハート・アート・おかやま」と名称が変更になりました。

活動の内容は、運営に関する話し合いや、研修、また、ワークショップの準備やその受付、介助など、何でもありです。わが子も、毎年、ワークショップなどを大変楽しみにしています。毎月の集まりでは、「こんなワークショップをしたい」「こんな作品ができた」とお互いに報告したり、イベントの準備をしながら「こんなことができたらいいな」を「本当にできた」という現実のものにしていっています。



「県総合文化センターでの展覧会」  
県内の障害のある人たちの作品約130点を並べました。会場には、参加するアートのコーナーもありました。

赤木さんの体験 2

## どんな活動をしているのですか？

障害のある人たちの芸術文化活動の支援を行なっています。

- 障害のある人も自由に参加できる表現・造形体験ワークショップ  
絵画、書、粘土、ダンス、音楽など取り組む内容は年度により異なります。
  - 作品展  
県内の障害のある人たちの作品展や、個展を行っています。
  - シンポジウムや講演会  
アートサポートをする指導者養成講座、ケアセミナーなど障害のある人に関わる人たちへ向けた講座や講演会をします。
  - アートリンク・プロジェクト  
作家と障害のある人のチームで、長期間制作を行っています。作品展もします。
  - 奉還町商店街「クリエイティブHAO」  
作品展や制作を行うスペースです。商店街にあるので、街の人に活動の様子など紹介できます。
- \* 一人ひとりの自由な表現を通して、障害の有無を超えて、それぞれの人の良さやすばらしさを見つけていきたいと考えています\*



ダイナミックな書のワークショップです。多くのボランティア（学生も含む）と楽しく制作しています。



「フラッグアート」  
一人ひとりが布に自由に絵を描いて、旗をつくりました。岡山の街を風を感じながら歩いたときの写真です。

# Part 5

体験談

募集

講座・イベント

お役立ち情報

## あなたにとってボランティアって何ですか？

私は、親という立場でこの活動を行っていますが、メンバーには様々な立場の違う方々も参加されており、とても楽しく活動しています。様々な立場の人々との交流で自分と違う考え方を知り、また一つの目的を共有して成し遂げた充実感を味わい社会とのつながりを実感できる活動です。そして何より自分が楽しいと思える瞬間があります。できることを、できるときにやっていくことで、今後も続けていけると思っています。

ハート・アート・おかやま事務局  
〒700-0982 岡山市中島田町2-5-22-102  
TEL : 086-221-3119 FAX : 086-221-3119